

大学祭レポート

15年度大学祭に、総合科学部から15生の「どっちの料理ショー」と13生言語文化科学プログラム有志による「ぬ〜どるず」が参加しました。今回は、実際参加したスタッフの方々に当時の様子を振り返ってもらいましょう。



ぬ〜どるず

どっちの料理ショー



平成十五年度 大学祭

総科一五、店だしレポート

去る十一月二日から三日、広島大学の大学祭が開かれました。その初日、総科一五生が、クレープと箸巻きのお店だしをしました。利益は、オリエンテーション・シンキヤンプの資金として使われます。今回は、準備から当日までの様子を、宣伝・広告スタッフの目線より報告します。



◎十月十日(金)スタッフ会議
各スタッフの分担が決定。宣伝スタッフ・広告スタッフのメンバーも決定しました。

◎十月十四日(火)

宣伝・広告スタッフ会議

食堂に集まり、店舗名を話し合いました。最終的に「どっちの料理ショー」に決定。お客さんに評判が高いのは、クレープと箸巻きDutch?!

◎十月十五日(水)

スタッフ内で、さらに、ポスター・看板・衣装・厳選素材の各係に分担。作業の効率アップを図ります。

◎十月十六日(木)ポスター提出

大学祭実行委員会に、大学祭期間中、展示される、ポスターを提出しました。赤と黄色を主に用いて、目を引くデザインに仕上がったと思います。



—その後、着々とその他の準備も進んでいきました。ダンボールを用い、メニューを書く三角コーンや、テントの装飾品を作りました。また、黄色と赤のエプロン、三角巾も衣装係の手によって作られ、当日の衛生面もバッチリ(?)です。

◎十月二十日(木)

宣伝・広告スタッフ前夜祭。スタッフ同士で、楽しみながら、英気を養いました。

◎十月三日(金)

厳選素材の写真の現像もでき、準備完了。翌朝、九時ごろ集合し、テント設置、装飾を行った後、正午ごろより、販売を開始しました。クレープ・箸巻き共に完売しました。また、大学祭実行委員会の企画により、お客さんに当日出展されていた店の中で、どの店がよかったか、という投票がありました。そのコンテストの



結果は四位に終わりましたが、お客さんにも、ご好評いただけたと思います。

*厳選素材：クレープと箸巻きを販売するに当たり、近所の農家、スーパーなどで、食材を選びに行きました。当日の店だしでは、その素材をテントに貼って展示しました。(写真参照。)

最初は、苦労するかと思っただけ、手分けして作業したので、むしろ楽しみながら、作業できました。友達と何か一つのを完成させたという喜びは大きく、絆も深まったし、いい思い出になりました。

担当 15生(兵法彩・秋吉真智恵・柳沢恵丸・真実)



「これだ！」って、も色々やっているうちに、まったよね。のだしの黄金比が決ち)この日に、ぬ〜どるずす



も)同じプログラムなのに話したことがない子もいたけど、この決起会で、二気にみんなの結束力が高まったよ

ぬ〜どるず日誌 於 大学祭

H15年大学祭で、うどんが大好評だった「ぬ〜どるず」。実は、メンバーは言語文化科学プログラムの有志の人たちでした。今回はぬ〜どるずの皆さんに、当時の様子を写真に沿って振り返っていただきます。

冒頭の文字と顔写真と対応ゆ)本番まで、あと一ヶ月きった時にやっと活動が開始したよね。



も)開店直後からうちの店だけ行列ができて、びっくりだった！そして…、



と最初は三百個の予定だったけど、俳句を見て、来る人が増えるかもって、結局五百個にしたんだよね。* * * * *



ま)これは看板作りの様子です。「和」がぬ〜どるずのテーマだったので、看板の素材にこだわりました！* * * * *



ぬ〜どるずにとって、この日は忘れられない一日になりました!

編集員の視点から

人が集まり、何かを行うという時、必ずいざこざや問題が起こってきそうなものだが、このグループにはそういった採め事が無かったということだから、驚きである。彼女達のなかで、やらされているのではなく、やりたいという思いが強かったからだろうか。いずれにしても、この活動は、私たちに思い出は突然起こるものではなく、作っていくものだということを教えてくれているように思える。

(担当 14生 筒井志歩)

